

令和 6 年 度
九州大学大学院
人文科学府修士課程

学生募集要項

〈第 1 期・第 2 期〉

一 般 入 試	1 ~ 3 頁
社 会 人 入 試	4 ~ 6 頁
(一 般 社 会 人 コー ス 高 校 教 員 等 特 別 コー ス 文 化 財 学 特 別 コー ス)	
外 国 人 留 学 生 入 試	7 ~ 9 頁
人 社 系 副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 入 試	10 ~ 11 頁
教 員 一 覧 及 び 主 な 研 究 事 項	12 ~ 24 頁

新型コロナウイルス感染症に関する状況等に応じて、やむを得ず、選抜方法等を変更する可能性がありますので、最新情報は九州大学大学院人文科学府の Web サイトで確認してください。



九州大学大学院人文科学府

人文基礎専攻

【求める学生像】

本専攻は、真・善・美という人類の最も基本的な価値についての研究を特色とすることから、学生は、ものごとを根本から思索する能力が求められます。そのためにも、現代のみならず、過去に蓄積された重要な知的遺産、とりわけ古典とされる文献資料・芸術作品を厳密かつ正確に理解する能力も必要とされます。

学部における勉学により、上記の思索する能力、古典を理解する能力を十分に身につけた学生を本専攻は求めています。

【入学者選抜方法】

入学選抜に当たっては、何よりも本専攻の教育理念にふさわしい人材の確保を基本方針とします。そのため、卒業論文あるいは研究計画書の提出を求めるとともに、各専修に必要な専門知識や語学力を問い、さらに口頭試問を課します。

歴史空間論専攻

【求める学生像】

本専攻では、現代社会の成り立ちを、時間的あるいは空間的な社会の多様性への関心を通じて見通すことを目標とします。具体的には、自ら史資料を収集・解析することで、特定の地域や時代における社会の特質を、実証的に、また理論的に解明する能力が求められます。その過程においては、人間精神の多様性を認識するセンスと、論理的思考力および独創性を養っていくことが期待されます。

学部における勉学により、上記の実証的、論理的思考力を十分に身につけた学生を本専攻は求めています。

【入学者選抜方法】

入学選抜に当たっては、何よりも本専攻の教育理念にふさわしい人材の確保を基本方針とします。そのため、卒業論文あるいは研究計画書の提出を求めるとともに、各専修に必要な専門知識や語学力を問い、さらに口頭試問を課します。

言語・文学専攻

【求める学生像】

本専攻は、言語という人類の最も基本的な知についての研究を特色とすることから、学生は、ものごとを根本から思索する能力が求められます。そのためにも、現代の言語現象のみならず、過去に蓄積された重要な文献、とりわけ古典と呼ばれる文献を厳密かつ正確に読解する能力も必要とされます。

学部における勉学により、上記の思索する能力、文献を読解する能力を十分に身につけた学生を本専攻は求めています。

【入学者選抜方法】

入学選抜に当たっては、何よりも本専攻の教育理念にふさわしい人材の確保を基本方針とします。そのため、卒業論文あるいは研究計画書の提出を求めるとともに、各専修に必要な専門知識や語学力を問い、さらに口頭試問を課します。

令和6年度九州大学大学院人文科学府修士課程学生募集要項

大学院人文科学府修士課程の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	※2 歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	国語学・国文学		
※1 広人文学コース			中国文学		
※2 歴史空間論	日本史学	日本史学	言語・文学	西洋文学	英語学・英文学
	アジア史学	東洋史学			独文学
		朝鮮史学		仏文学	
		考古学		言語学	
募 集 人 員			56名（第1期と第2期の合計）		

※1 人文基礎専攻の「広人文学コース」は、別途に募集する。

※2 歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出 願 資 格

九州大学大学院人文科学府修士課程に入学を志願できる者は、次のとおりである。

なお、留学の目的をもって日本に入国した外国人又は入国しようとする外国人は一般入試には出願できない。

- (1) 大学を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和6年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において、本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに22歳に達するもの
- (11) 本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（出願に関する注意事項）

【注1】有職者の場合、願書提出前に九州大学人文社会科学系事務部学務課（人文科学府担当）にその旨申し出ること。

【注2】(9)、(10)、(11)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記書類を、第1期については令和5年6月29日（木）、第2期については令和5年10月31日（火）までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する場合がある。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 最終学校作成のもの
- ・卒業証明書 最終学校のもの
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等, A4判 4,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間 第1期 令和5年7月25日(火)から8月4日(金)17時まで(必着)
 第2期 令和5年12月4日(月)から令和6年1月5日(金)17時まで(必着)

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当)(〒819-0395 福岡市西区元岡744番地)宛に郵送すること。又は、本人が直接学務課(人文科学府担当)窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書, 受験票, 照合票(本学府所定の用紙)及び写真2葉(縦3.5cm×横2.8cm, 3か月以内に撮影したものを願書及び照合票に貼付すること)
- (2) 出身大学(学部)長の成績証明書(九州大学文学部卒業予定者は提出を必要としない)
- (3) 卒業(見込)証明書(九州大学文学部卒業予定者は提出を必要としない)
- (4) 大学評価・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請受理証明書(出願資格(2)に該当する者のみ。ただし, 出願時に大学評価・学位授与機構の認定専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の当該専攻科に在籍している者は, 在籍する学校長が発行する学士の学位授与申請予定証明書でも可)
- (5) 研究計画書・論文等(九州大学文学部卒業予定者は別途掲示を参照すること)
 次のイ)又はロ)のいずれかを提出すること。
 イ 志望専修に関わる研究計画書又は研究概要(A4判 6,000字以内)
 ロ 志望専修に関わる卒業論文, あるいはそれに代わるべき論文がある者は, 当該論文又はその写し
 (注) 論文は他の出願書類とは別便で送付してもよいが, 願書受付期間内に必着のこと。
- (6) 検定料30,000円(「入学検定料の支払いについて」, 「九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法」を参照すること。)
- (7) 受験票送付のため, 定形長形3号封筒(12cm×23.5cm)にあて先を明記し, 344円(速達)の切手を貼付したもの。
- (8) 住所票(人文科学府ホームページのフォームから入力すること。)

5. 入学者選抜方法

- (1) 筆記試験及び口頭試問

専修	筆記試験		口頭試問
	外国語科目	専修科目	
哲学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語の うちから1選択 (注)	哲学	提出された研究計画書・論文等及び専修科目等について
倫理学		倫理学	
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験(サンスクリット, 古典チベット語のうちから1選択)を課すことがある	
中国哲学史		中国哲学史(漢文読解を含む)	
芸術学		芸術学	
日本史学		日本史学	
東洋史学		東洋史学	
朝鮮史学		朝鮮史学	
考古学		考古学	
西洋史学		西洋史学	
イスラム文明史学		イスラム文明史学	
地理学		地理学	
国語学・国文学		国語学・国文学	
中国文学		中国文学	
英語学・英文学		英語学・英文学	
独文学		独文学	
仏文学	仏文学		
言語学	言語学		

(注) 「英語学・英文学」は英語を, 「独文学」は独語を, 「仏文学」は仏語を, 「中国文学」は中国語を選ぶことはできない。

- (2) 研究計画書・論文等の審査 提出された研究計画書・論文等の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和5年8月31日(木)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
令和5年9月1日(金)	口頭試問	別途指示する。	

第2期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和6年2月7日(水)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
令和6年2月8日(木)	口頭試問	別途指示する。	

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- いずれも、午前9時に人文社会科学系学務課前の屋外掲示板に公式に掲示する
- (1) 第1期 令和5年9月13日(水) } と共に、郵送により合格者に通知する。また、合格者発表以降に、九州大学大
第2期 令和6年2月21日(水) } 学院人文科学府のウェブサイト (<https://ww2.lit.kyushu-u.ac.jp>) 上にも掲載する。なお、電話による可否の問い合わせには応じません。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも令和6年2月下旬に送付する。

8. 入学時期 令和6年4月1日(第1期、第2期とも)

9. 入学金・授業料等の納入金額

- (1) 入学金 282,000円(予定)
- (2) 授業料 前期分 267,900円(予定)又は前・後期分 535,800円(予定)
- (注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

10. 長期履修学生制度について

人文科学府では、やむを得ない理由により長期履修を希望する場合は、申請により「標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了すること」が認められる。

この制度により、長期履修学生が修了するまで、1年間に納める授業料の額は、標準修業年限(2年)分の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。

11. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります。そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前のなるべく早い時期に人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当)まで相談してください。

なお、出願期間内に連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

12. その他

- (1) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (2) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (3) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒819-0395 福岡市西区元岡744番

TEL 092-802-6365 (人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当))

e-mail:jbkkyomu11t@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp>]

令和6年度九州大学大学院人文科学府 修士課程〔社会人入試〕学生募集要項

(一般社会人コース・高校教員等特別コース^{*1}・文化財学特別コース^{*1})

大学院人文科学府修士課程の「一般社会人コース」,「高校教員等特別コース」,「文化財学特別コース」の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお,入学志願者は第1期と第2期のいずれか,又は両方を受験することができる。

「一般社会人コース」は,一定の社会的経験を積んだ人で,高度な教養と専門的知識の獲得をめざす人を対象とする。

「高校教員等特別コース」,「文化財学特別コース」は,高校教員や学芸員等として社会的に活動している人で,さらに高度な専門的知識を身につけ,最新の知見を獲得することによって,その社会的活動の一層の充実をめざす人を対象とする。

1. 専攻,分野,専修及び募集人員

(1) 専攻,分野及び専修

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	※3 歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	国語学・国文学		
※2 広人文学コース			中国文学		
※3 歴史空間論	日本史学	日本史学	言語・文学	西洋文学	英語学・英文学
	アジア史学	東洋史学			独文学
		朝鮮史学		仏文学	
		考古学		言語学	

※1 「高校教員等特別コース」又は「文化財学特別コース」に申し込もうとする者は,表に示す専攻・分野・専修を考慮の上,希望する指導教員(予定)と,内容等について事前に相談すること。

※2 人文基礎専攻の「広人文学コース」は,別途に募集する。

※3 歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

(2) 募集人員 「一般社会人コース」10名程度,「高校教員等特別コース」及び「文化財学特別コース」若干名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で,「一般社会人コース」については,大学卒業等の資格を得,その後3年以上の社会人としての経験を有する者,「高校教員等特別コース」及び「文化財学特別コース」については,出願時に高校教員や学芸員等の職に在職している者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において,学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において,外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって,文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について,当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において,修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により,学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって,本大学院の学府において,本大学院の学府

における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに22歳に達するもの
- (11) 本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
(出願に関する注意事項)

【注1】出願資格について不明な点があれば九州大学人文社会科学系事務部学務課（人文科学府担当）に照会すること。

【注2】(9), (10), (11)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記の書類を、第1期については、令和5年6月29日（木）、第2期については令和5年10月31日（火）までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する場合がある。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 最終学校作成のもの
- ・卒業証明書 最終学校のもの
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等、A4判 4,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間 第1期 令和5年7月25日（火）から8月4日（金）17時まで（必着）
第2期 令和5年12月4日（月）から令和6年1月5日（金）17時まで（必着）

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学人文社会科学系事務部学務課（人文科学府担当）（〒819-0395 福岡市西区元岡744番地）宛に郵送すること。又は、本人が直接学務課（人文科学府担当）窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書、受験票、照合票（本学府所定の用紙）及び写真2葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び照合票に貼付すること）
- (2) 「高校教員等特別コース」又は「文化財学特別コース」を受験する者については、在職証明書（在職期間を明示）及び所属長の出願同意書
- (3) 卒業証明書
- (4) 出身大学（学部）長の成績証明書
- (5) 大学評価・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請受理証明書（出願資格(2)に該当する者のみ。ただし、出願時に大学評価・学位授与機構の認定専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の当該専攻科に在籍している者は、在籍する学校長が発行する学士の学位授与申請予定証明書でも可）
- (6) 入学志願理由書（研究計画を含む。A4判 6,000字以内）。論文等があれば参考資料として付すことができる。
- (7) 検定料30,000円（「入学検定料の支払いについて」、「九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法」を参照すること。）
- (8) 受験票送付のため、定形長形3号封筒（12cm×23.5cm）にあて先を明記し、344円（速達）の切手を貼付したもの。
- (9) 住所票（人文科学府ホームページのフォームから入力すること。）

5. 入学者選抜方法

- (1) 筆記試験及び口頭試問
筆記試験は、小論文と専修科目（外国語を課すこともある）の試験を行う。
- (2) 入学志願理由書等の審査 提出された入学志願理由書等の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和5年8月31日（木）	小論文	9:30 ~ 12:30	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
令和5年9月1日（金）	口頭試問	別途指示する。	

第2期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和6年2月7日（水）	小論文	9:30 ~ 12:30	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
令和6年2月8日（木）	口頭試問	別途指示する。	

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- いずれも、午前9時に人文社会科学系学務課前の屋外掲示板に公式に掲示する
- (1) 第1期 令和5年9月13日(水) } と共に、郵送により合格者に通知する。また、合格者発表以降に、九州大学大
第2期 令和6年2月21日(水) } 学院人文科学府のウェブサイト (<https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp>) 上にも掲載する。なお、電話による可否の問い合わせには応じません。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも令和6年2月下旬に送付する。

8. 入学時期 令和6年4月1日(第1期、第2期とも)

9. 大学院設置基準第14条による特例の適用

大学院設置基準第14条による特例(有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間は、通常の授業時間帯及び通常の時間帯以外の特定の時間又は時期に設ける)による教育の実施を希望する者は、合格発表後、速やかに指導教員(予定)から今後の研究・学習計画等について指導を受けること。但し、上記特例は、入学後2年目以降に適用する。

10. 入学金・授業料等の納入金額

- (1) 入学金 282,000円(予定)
- (2) 授業料 前期分 267,900円(予定)又は前・後期分 535,800円(予定)
- (注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

11. 長期履修学生制度について

人文科学府では、やむを得ない理由により長期履修を希望する場合は、申請により「標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了すること」が認められる。

この制度により、長期履修学生が修了するまで、1年間に納める授業料の額は、標準修業年限(2年)分の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。

12. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前のなるべく早い時期に人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当)まで相談してください。

なお、出願期間内に連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

13. そ の 他

- (1) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (2) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (3) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒819-0395 福岡市西区元岡744番

TEL 092-802-6365 (人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当))

e-mail:jbkkyomu1lt@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp>]

令和6年度九州大学大学院人文科学府修士課程（外国人留学生入試）学生募集要項

大学院人文科学府修士課程（外国人留学生）の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	※2 歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史		日本・東洋文学	国語学・国文学
芸術学	芸術学	中国文学			
※1 広人文学コース			言語・文学	西洋文学	英語学・英文学
※2 歴史空間論	日本史学	日本史学			独文学
	アジア史学	東洋史学		仏文学	
		朝鮮史学		言語学	言語学
		考古学			
募 集 人 員 若 干 名					

※1 人文基礎専攻の「広人文学コース」は、別途に募集する。

※2 歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

外国人留学生として入学を志願できる者は、留学の目的をもって日本に入国した外国人又は入国しようとする外国人で、次の各号のいずれかに該当する者。

- 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は令和6年3月修了見込の者
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 日本の大学を卒業した者又は令和6年3月卒業見込の者
- 本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【注】(6)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記書類を、第1期については令和5年6月29日（木）、第2期については令和5年10月31日（火）までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する場合がある。

- ・事前審査申請書（本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。）
- ・入学願書（本学府所定の用紙）
- ・成績証明書 最終学校作成のもの
- ・卒業証明書 最終学校のもの
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等、A4判 4,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

- 願書受付期間 第1期 令和5年7月25日（火）から8月4日（金）17時まで（必着）
第2期 令和5年12月4日（月）から令和6年1月5日（金）17時まで（必着）

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学人文社会科学系事務部学務課（人文科学

府担当) (〒819-0395 福岡市西区元岡744番地)宛に郵送すること。又は、本人が直接学務課(人文科学府担当)窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書(小学校入学以後の学歴, 職歴等を明細に記入すること), 受験票, 照合票(本学府所定の用紙)及び写真2葉(縦3.5cm×横2.8cm, 3か月以内に撮影したものを願書及び照合票に貼付すること)
- (2) 最終出身学校の成績証明書(九州大学文学部卒業予定者は提出を必要としない)
- (3) 卒業(見込)証明書(九州大学文学部卒業予定者は提出を必要としない)
- (4) 日本語の能力についての証明書
- (5) 研究計画書・論文等(九州大学文学部卒業予定者は別途掲示を参照すること)
次の(i)又は(ii)のいずれかを提出すること。
(i) 志望専修に関わる研究計画書又は研究概要(A4判 6,000字以内)
(ii) 志望専修に関わる卒業論文, あるいはそれに代わるべき論文がある者は, 当該論文, 又はその写し
(注) 1. 論文は他の出願書類とは別便で送付してもよいが, 願書受付期間内に必着のこと。
2. 日本史学と国語学・国文学を志望する者の提出する研究計画書, 研究概要, 又は論文は日本語のものに限る。
- (6) 検定料30,000円(「入学検定料の支払いについて」, 「九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法を参照すること。)
- (7) 受験票送付のため, 定形長形3号封筒(12cm×23.5cm)にあて先を明記し, 344円(速達)の切手を貼付したもの。
- (8) 住所票(人文科学府ホームページのフォームから入力すること。)
- (9) 在留カードの写し

5. 入学者選抜方法

(1) 筆記試験及び口頭試問

専 修	筆 記 試 験			口 頭 試 問
	外国語科目	専 修 科 目	日 本 語	
哲 学		哲学	全専修に 課す	提出された 研究計画書・ 論文等及び 専修科目等 について
倫 理 学		倫理学		
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験(サンスクリット, 古典チベット語のうちから1選択)を課すことがある		
中国哲学史		中国哲学史(漢文読解を含む)		
芸 術 学		芸術学		
日 本 史 学		日本史学		
東 洋 史 学		東洋史学		
朝 鮮 史 学		朝鮮史学		
考 古 学		考古学		
西 洋 史 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語の うちから1選択	西洋史学		
イスラム文明史学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語の うちから1選択	イスラム文明史学		
地 理 学		地理学		
国語学・国文学		国語学・国文学		
中 国 文 学		中国文学		
英語学・英文学		英語学・英文学		
独 文 学		独文学		
仏 文 学		仏文学		
言 語 学	*	言語学		

(注) 上記外国語科目中, 母国語を選ぶことはできない。

* (言語学専修の志願者のみ)

TOEFL-iBTのOfficial Score Reportを提出すること。

なお, TOEFL-ITPのスコアレポートでも可とする。

・出願締切日から遡って2年以内に受験したものの原本に限る。

・原則として返却しないが, 返却を希望する者は必ず事前に申し出ること。

(2) 研究計画書・論文等の審査 提出された研究計画書・論文等の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和5年8月31日(木)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
	日本語	17:00 ~ 18:00	
令和5年9月1日(金)	口頭試問	別途指示する。	

第2期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和6年2月7日(水)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
	日本語	17:00 ~ 18:00	
令和6年2月8日(木)	口頭試問	別途指示する。	

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- いずれも、午前9時に人文社会科学系学務課前の屋外掲示板に公式に掲示する
- (1) 第1期 令和5年9月13日(水) } と共に、郵送により合格者に通知する。また、合格者発表以降に、九州大学大
第2期 令和6年2月21日(水) } 学院人文科学府のウェブサイト (<https://ww2.lit.kyushu-u.ac.jp>) 上にも掲載する。なお、電話による可否の問い合わせには応じません。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも令和6年2月下旬に送付する。

8. 入学時期 令和6年4月1日(第1期、第2期とも)

9. 入学金・授業料等の納入金額

- (1) 入学金 282,000円(予定)
- (2) 授業料 前期分 267,900円(予定)又は前・後期分 535,800円(予定)
- (注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

10. 長期履修学生制度について

人文科学府では、やむを得ない理由により長期履修を希望する場合は、申請により「標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了すること」が認められる。

この制度により、長期履修学生が修了するまで、1年間に納める授業料の額は、標準修業年限(2年)分の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。

11. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前のなるべく早い時期に人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当)まで相談してください。

なお、出願期間内に連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

12. その他

- (1) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (2) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (3) 提出論文は、口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒819-0395 福岡市西区元岡744番

TEL 092-802-6365 (人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当))

e-mail:jbkkyomult@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp>]

令和6年度九州大学大学院人文科学府修士課程 〔人社系副専攻プログラム入試〕 学生募集要項

大学院人文科学府修士課程（人社系副専攻プログラム修了者）の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

（※2023年4月から、「文系4学部副専攻プログラム」から「人社系副専攻プログラム」に名称が変わっています。）

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

(1) 専攻、分野及び専修

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	※2 歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	国語学・国文学		
※1 広人文学コース			中国文学		
※2 歴史空間論	日本史学	日本史学	言語・文学	西洋文学	英語学・英文学
	アジア史学	東洋史学			独文学
		朝鮮史学			仏文学
		考古学		言語学	
			言語学	言語学	

※1 人文基礎専攻の「広人文学コース」は、別途に募集する。

※2 歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

(2) 募集人員 若干名

2. 出願資格

九州大学文学部、教育学部、法学部、経済学部又は工学部建築学科を卒業及び令和6年3月卒業見込みの者で、人社系副専攻プログラムを修了及び令和6年3月修了見込みのもの。

ただし、九州大学文学部を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者は、所属専門分野の専修には出願できない。

3. 願書受付期間 第1期 令和5年7月25日（火）から8月4日（金）17時まで（必着）
第2期 令和5年12月4日（月）から令和6年1月5日（金）17時まで（必着）

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学人文社会科学系事務部学務課（人文科学府担当）（〒819-0395 福岡市西区元岡744番地）宛に郵送すること。又は、本人が直接窓口へ提出すること。

(1) 入学願書、受験票、照合票（本学府所定の用紙）及び写真2葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び照合票に貼付すること）

(2) 出身学部長の成績証明書（九州大学文学部卒業予定者は提出を必要としない）

(3) 卒業（見込）証明書（九州大学文学部卒業予定者は提出を必要としない）

(4) 研究計画書・論文等（九州大学文学部卒業予定者は別途掲示を参照すること）

次のイ又はロのいずれかを提出すること。

イ 志望専修に関わる研究計画書又は研究概要（A4判6,000字以内）

ロ 志望専修に関わる卒業論文、あるいはそれに代わるべき論文がある者は、当該論文又はその写し

（注）論文は他の出願書類とは別便で送付してもよいが、願書受付期間内に必着のこと。

(5) 検定料30,000円（「入学検定料の支払いについて」、「九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法を参照すること。」）

(6) 受験票送付のため、定形長形3号封筒（12cm×23.5cm）にあて先を明記し、344円（速達）の切手を貼付したもの。

(7) 住所票（人文科学府ホームページのフォームから入力すること。）

5. 入学者選抜方法

(1) 筆記試験及び口頭試問

筆記試験は、小論文と専修科目（外国語を課すこともある）の試験を行う。

(2) 研究計画書・論文等の審査 提出された研究計画書・論文等の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和5年8月31日(木)	小論文	9:30 ~ 12:30	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
令和5年9月1日(金)	口頭試問	別途指示する。	

第2期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
令和6年2月7日(水)	小論文	9:30 ~ 12:30	受験票送付時に通知する。
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
令和6年2月8日(木)	口頭試問	別途指示する。	

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- いずれも、午前9時に人文社会科学系学務課前の屋外掲示板に公式に掲示する
- (1) 第1期 令和5年9月13日(水) } と共に、郵送により合格者に通知する。また、合格者発表以降に、九州大学大
第2期 令和6年2月21日(水) } 学院人文科学府のウェブサイト (<https://ww2.lit.kyushu-u.ac.jp>) 上にも掲載する。なお、電話による可否の問い合わせには応じません。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも令和6年2月下旬に送付する。

8. 入学時期 令和6年4月1日(第1期、第2期とも)

9. 大学院設置基準第14条による特例の適用

大学院設置基準第14条による特例(有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間は、通常の授業時間帯及び通常の時間帯以外の特定の時間又は時期に設ける)による教育の実施を希望する者は、合格発表後、速やかに指導教員(予定)から今後の研究・学習計画等について指導を受けること。但し、上記特例は、入学後2年目以降に適用する。

10. 入学科・授業料等の納入金額

- (1) 入学科 282,000円(予定)
- (2) 授業料 前期分 267,900円(予定)又は前・後期分 535,800円(予定)
- (注)上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

11. 長期履修学生制度について

人文科学府では、やむを得ない理由により長期履修を希望する場合は、申請により「標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了すること」が認められる。

この制度により、長期履修学生が修了するまで、1年間に納める授業料の額は、標準修業年限(2年)分の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。

12. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります。そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前のなるべく早い時期に人文社会科学系事務部学務課(人文科学府担当)まで相談してください。

なお、出願期間内に連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

13. その他

- (1) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (2) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (3) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

教員一覧及び主な研究事項

(令和5年5月現在)

○人文基礎専攻

哲学専修

倉田 剛 教授

専 門：哲学基礎論

専門分野：現代英語圏の分析形而上学・形式存在論、および十九世紀後半から二十世紀初頭にかけての「オーストリア哲学」を主な研究領域とする。

主要業績：『現代存在論講義Ⅰ—ファンダメンタルズ』（新曜社、2017年）

『現代存在論講義Ⅱ—物質的对象・種・虚構』（新曜社、2017年）

『日常世界を哲学する—存在論からのアプローチ』（光文社新書、2019年）

『ワードマップ現代形而上学』（共著、新曜社、2014年）

大西 克智 教授

専 門：西洋哲学史

専門分野：存在、自由、意志、悪、自己（意識/良心）をめぐる系譜学的探求を課題とする。哲学と倫理の、そして信と知の、渾然として未分化な淵源を探ることが最終的な目的である。

主要業績：『意志と自由—一つの系譜学』（知泉書館、2014年）

『『エッセー』読解入門—モンテーニュと西洋の精神史』（講談社学術文庫、2022年）

『世界哲学史5—中世Ⅲ バロックの哲学』（共著、ちくま新書、2020年）

『デカルト全書簡集 第四巻（1640～1641）』（監訳、知泉書館、2016年）

『西洋哲学史Ⅲ—ポストモダンの前に』（共著、講談社選書メチエ、2012年）

倫理学専修

横田 理博 教授

専 門：近現代ドイツ思想、近代日本思想、比較思想

専門分野：マックス・ウェーバーの比較宗教社会学の読み解きを基軸として、多様な文化の中での運命観、連帯観、行為の推進力などの実相を探究している。西田幾多郎や鈴木大拙の思想についても考察している。

主要業績：『ウェーバーの倫理思想—比較宗教社会学に込められた倫理観』（未来社、2011年）

「ニーチェからヴェーバーへ—『ルサンティマン』説をめぐる」（『ドイツ社会学とマックス・ヴェーバー—草創期ドイツ社会学の固有性と現代的意義』、時潮社、2012年）

「西田幾多郎の『善の研究』とショーペンハウアー」（『哲学論文集』第55輯、2019年）

吉原 雅子 准教授

専 門：現代倫理思想

専門分野：道徳にかかわる命題の言語の観点からの研究。特に、規範命題と事実命題についての研究、決定論と責任の両立可能性をめぐる問題の研究。

主要業績：「信念文が不透明である理由」（『科学基礎論研究』94、2000年）

「道徳法則の妥当性と個別主義」（『哲学年報』68、2009年）

「PAPの限界と因果的決定論」（『哲学年報』67、2008年）

飯嶋 裕治 准教授

専 門：倫理学理論、日本思想史

専門分野：倫理学の基礎的な理論研究として、規範性・意味という現象に注目し、解釈学的観点からの行為論・共同体論の研究に取り組んでいる。また現代の「われわれ」自身の道徳的理想像の探求の一環として、日本思想史・文化史研究も行なっている。

主要業績：「和辻哲郎の解釈学的行為論に見る「個人」的存在の可能性―「資格」と「徳」を手がかりに」（『思想』1061、2012年）

Über die hermeneutische Struktur der „Normativität“ der Ethik Tetsurō Watsuji – ausgehend von seiner Rezeption des Denkens Martin Heideggers (*Heidegger-Jahrbuch* 7, 2013)

『和辻哲郎の解釈学的倫理学』（東京大学出版会、2019年）

インド哲学史専修

岡野 潔 教授

専 門：インド仏教学

専門分野：インド仏教文献、特に初期仏教の諸文献（宇宙論、説話文学、仏伝）と初期大乘經典。ネパールのサンスクリット写本とチベット語訳に基づく仏教文献の校訂や翻訳を進めています。

主要業績：「インド正量部による世界の歴史―『大いなる帰滅の物語』内容梗概」（『印度学宗教学会論集』38、2011年）

片岡 啓 教授

専 門：インド思想史

専門分野：サンスクリット語で書かれたものなら何でも読みます。インド哲学・宗教全般、特に、聖典解釈学・認識論・仏教論理学が得意です。ヨーガ・詩文学・インド医学・密教・討論術も。

主要業績：『ミーマーンサー研究序説』（九州大学出版会、2011年）

Meaning and Non-existence （John Taber との共著、Verlag der Oesterreichischen Akademie der Wissenschaften, 2021年）

中国哲学史専修

南澤 良彦 教授

専 門：中国古代中世思想史

専門分野：両漢魏晋南北朝隋唐時代の思想を研究している。特に魏晋から隋唐時代にかけての儒教思想の解明に努めている。近年は中国科学技術思想や日本漢学に研究分野を拡大している。

主要業績：『中国明堂思想研究―王朝をささえるコスモロジー―』（岩波書店、2018年）

「試論漢唐将作大匠―中国古代的科学技術与官僚制」（『第七届中国学者中国古代史論壇論文集』、中国社会科学出版社、2016年）

「日本に於ける『孔子家語』の受容-徳川時代を中心として」（『日本中国学会報』65、2013年）

「張衡の宇宙論とその政治的側面」（『東方学』89、1995年）

藤井 倫明 准教授

専 門：中国近世思想史

専門分野：宋明時代の理学思想、特に朱子学の思想構造について研究。東アジアの朱子学にも関心を持ち、近年は山崎闇斎学派の朱子学についても研究を進めている。

主要業績：『朱熹思想結構探索―以「理」為考察中心』（台湾大学出版中心、2011年）

「宋代道学における聖人観の本質―道学的『無』の意味するもの」（『東方学』104、2002年）

『『流行』する『理』—朱熹の『理』再考』（『日本中国学会報』61、2009年）
『日本崎門学者的『知蔵』論探析』（『中正漢学研究』27、2016年）

芸術学専修

井手 誠之輔 教授

専 門：東洋美術史

専門分野：中世以来、日本に舶載されて伝来してきた中国・朝鮮の仏画を中心に研究している。これらの請来仏画が、本来、宋元時代や高麗時代のどのような文化的・社会的な文脈を反映していたのかを、中国絵画史・朝鮮絵画史の問題として再検討するとともに、請来仏画が日本側でどのように機能したのか、また日本側でどのような受容が行われたのかを東アジア的観点から研究している。

主要業績：『アジア仏教美術論集 東アジアIV 朝鮮半島』（共編著、中央公論美術出版、2018年）

『大徳寺伝来五百羅漢図』（共著、思文閣出版、2014年）

『Light & Color 絵画表現の深層をさぐる』（共著、中央公論美術出版、2009年）

『日本の宋元仏画』（単著、至文堂、2001年）『故宮博物院 南宋の絵画』（共著、日本放送出版協会、1998年）

「唐絵研究の可能性— 半島由来絵画を中心に—」『コレクションとアーカイヴ— 東アジア美術研究の可能性』（勉誠出版、2021年）

伊藤 拓真 准教授

専 門：西洋美術史、美術批評史

専門分野：イタリア・ルネサンス美術を中心に研究を行っている。ルネサンス期の美術は、その後の西洋における美術の在り方を形作ったともされている。その展開の歴史的・地理的特殊性を、具体的な作品および美術批評の分析によって跡付けることを目指している。また、学問領域としての美術史学の確立・発展にルネサンス美術研究が果たした歴史的役割を再検討し、今後の研究に活用したいと考えている。

主要業績：『西洋美術史における「古典」の創出』（共著、中央公論美術出版、2021年）

“Ghirlandaio Brothers Reconsidered: The Master of the Saint Louis Madonna as Young Benedetto Ghirlandaio”, *Journal of the Warburg and Courtauld Institutes*, LXXXIII (2020)

『オリジナルとコピー：16世紀および17世紀における複製画の変遷』（共著、三元社、2019年）『ルネサンス期トスカナのステンドグラス』（中央公論美術出版、2017年）

東口 豊 准教授

専 門：美学、音楽学、映像学

専門分野：近現代ドイツ美学における自然の問題について研究。また、音楽や写真・映画等の映像表現、サブカルチャーもカバーする。更に美学史研究を土台にしつつ、藝術体験の存在論や社会学、先端技術の感性論等に関する新しい美学思想の構築を目指している。

主要業績：“Can AR Technologies Have an Impact of the Definition of Art?” (*AM Journal of Art and Media Studies*, No.20, 2019)

「Th・W・アドルノの音楽言語論における「沈黙」」（『哲学年報』第69輯、2010年）

“The Aesthetics of Periphery without Center — A New foundation of the Aesthetics of Nature” (*International Yearbook of Aesthetics*, Vol.5, 2002)

石井 祐子 准教授

専 門：西洋美術史、芸術学

専門分野：西洋近現代の美術の中でも、特にシュルレアリスムの美術をめぐる諸問題について研究。両大戦間の展覧会活動や、コラージュの理念と実践、シュルレアリスムの国際化と日英での受容など、様々な観点から考察を

進めている。近年は、イギリスのモダン・アートと趣味論の関わりにも関心を広げている。

主要業績：「海外超現実主義作品展」（1937年）における複製写真展示の意義：シュルレアリスム「国際」展の観点から（『藝術研究』33、2020年）

Michael Richardson, Dawn Ades, Steven Harris, Krzysztof Fijalkowski, Georges Sebbag (eds.), *The International Encyclopedia of Surrealism*, London: Bloomsbury, 3 vols, 2019.

『コラージュの彼岸：マックス・エルンストの制作と展示』（ブリュッケ、2014年）

「その道は、長いというより広い：1930年代のコーク・ストリートにみるイギリスにおけるシュルレアリスム受容の一側面」（『藝術研究』28、2015年）

○歴史空間論専攻

日本史学専修

岩崎 義則 准教授

専 門：日本近世史

専門分野：大坂銅座の沿革と意義を柱とする近世の銅流通、および秋田・別子等の鉱山、更には貿易都市長崎の研究をすすめている。また、平戸藩の政治と文化について、楽歳堂文庫の書籍類を中心に研究を進めている。

主要業績：『長崎県内の多様な集落が形成する文化的景観保存調査報告書 資料編3 藩政資料』（長崎県、2013年）

“ THE AKITA DOMAIN AND OSAKA MER-CHANT HOUSES AT THE TIME OF THE ESTABLISHMENT OF THE MEIWA COPPER AGENCY ”,

『Trade and Commerce in the Eastern Chinese Sea: Early Modern Sino-Japanese Copper Trade 1650-1850』, Keiko Nagase-Reimer, Brill, 2015.

荒木 和憲 准教授

専 門：日本中世史

専門分野：中世日本と東アジア諸地域との交流史を研究している。特に朝鮮半島との交流史について、対馬の地域史と結びつけて理解するよう努めている。また、九州政治史、海上交通史、東アジア比較古文学などにも取り組んでいる。

主要業績：『中世対馬宗氏領国と朝鮮』（山川出版社、2007年）

『対馬宗氏の中世史』（吉川弘文館、2017年）『中世日本の国際交流における海上交通に関する研究』（国立歴史民俗博物館研究報告223、2021年）

国分 航士 講師

専 門：日本近現代史

専門分野：明治期以降の天皇・皇室制度について、法と政治という観点から研究を進めている。特に、明治後期・大正期に行われた皇室制度改革、議会制と天皇・皇室制度の関係、東アジア社会における恩赦制度などに関心を持っている。

主要業績：「明治立憲制と「宮中」」（『史学雑誌』124編9号、2015年）

「大正初期の「剰余金支出」問題」（『史林』98巻3号、2015年）

「大正期皇室制度改革と「会議」」（御厨貴編著『天皇の近代』、千倉書房、2018年）

東洋史学専修

中島 楽章 准教授

専 門：中国社会史・東アジア海域史

専門分野：中国社会史では、文書史料なども活用して、宋元・明清時代の社会結合や、商業活動の展開を検討している。東アジア海域史では、15～18世紀の九州・中国・東南アジア海域の貿易・交流を、日・中・欧の史料を利用して研究している。

主要業績：『明代郷村の紛争と秩序－徽州文書を史料として』（汲古書院、2002年）

『徽州商人と明清中国』（山川出版社、2009年）

『寧波と博多』（共編著、汲古書院、2013年）

『南蛮・紅毛・唐人一一六・一七世紀の東アジア海域』（編著、思文閣出版、2013年）

『大航海時代の海域アジアと琉球－レキオスを求めて』（思文閣出版、2020年）

『アジアの海を渡る人々一一六・一七世紀の渡海者』（共編著、春風社、2021年）

朝鮮史学専修

森平 雅彦 教授

専 門：朝鮮中近世史、朝鮮半島の環境史

専門分野：朝鮮中近世の国際関係や政治社会を研究。具体的には、東アジア諸地域との外交、文化交流、陸海の交通、およびそのもとで展開した国家の史的特質について追及してきた。近年は韓国で社会問題となった内水面の環境をめぐるヒトとの関係史について、漁撈、舟運などの資源利用を軸に考察している。

主要業績：『朝鮮の歴史—先史から現代』（共著、昭和堂、2008年）

『モンゴル帝国の覇権と朝鮮半島』（山川出版社、2011年）

『中近世の朝鮮半島と海域交流』（編著、汲古書院、2013年）

『モンゴル覇権下の高麗—帝国秩序と王国の対応』（名古屋大学出版会、2013年）

「朝鮮時代の洛東江上流における官営漁梁と資源をめぐる相克— 礼安県の事例から」（『朝鮮学報』259、2022年）

小野 容照 准教授

専 門：朝鮮近代史

専門分野：植民地時代の朝鮮民族運動を研究。とくに、同時代の日本、中国、台湾の思想状況や運動との相互影響関係に着目しながら、朝鮮民族運動をグローバルな視点で描くことを目指してきた。それと並行して近年は、スポーツイベントや部活動を中心とする文化史、教育史研究も進めている。

主要業績：『朝鮮独立運動と東アジア 1910-1925』（思文閣出版、2013年）

『帝国日本と朝鮮野球—憧憬とナショナリズムの隘路』（中央公論新社、2017年）

『韓国「建国」の起源を探る—三・一独立運動とナショナリズムの変遷』（慶應義塾大学出版会、2021年）

考古学専修

宮本 一夫 教授

専 門：東アジア考古学

専門分野：中国を中心とした東アジア世界における文明の形成と発展過程を、小地域ごとの多様性の比較検討と広域に渡る統一性に注目して分析をすすめている。また、中国文明の形成過程を農耕民と牧畜型農耕民の文化接触という視点から研究をすすめている。研究にあたっては実地・実物の調査を重視し、中国・極東ロシア・モンゴル国・日本でフィールド調査をおこなっている。

主要業績：『中国の歴史01—神話から歴史へ（神話時代 夏王朝）』（講談社学術文庫、2020年）

『東アジア青銅器時代の研究』（雄山閣、2020年）『東北アジアの初期農耕と弥生の起源』（同成社、2017年）

辻田 淳一郎 准教授

専 門：日本考古学

専門分野：日本列島の古代国家形成過程に関する比較考古学的研究。物質文化の分析を基礎として、社会の複雑化の実態解明やその相対化を目指しつつ研究を行っている。

主要業績：『鏡の古代史』（角川選書、2019年）

『同型鏡と倭の五王の時代』（同成社、2018年）

『鏡と初期ヤマト政権』（すいれん舎、2007年）

「世界の中古墳時代研究—比較考古学の観点から—」（『考古学研究』61-3、2014年）

西洋史学専修

今井 宏昌 准教授

専 門：ドイツ現代史

専門分野：物理的・肉体的な暴力の経験が、時代状況とのかかわりの中でどのように変容し、また逆にその当事者や社会をどのように規定していったのかという問題関心から、第一次世界大戦後ドイツにおけるパラミリタリ（準軍隊）組織・義勇軍とそのメンバーのバイオグラフィを、経験史の観点から分析している。またこれと並行し、第一次世界大戦中に福岡県久留米市に設立されたドイツ兵俘虜収容所の世界を、「下からのグローバル・ヒストリー」の視角から再考している。

主要業績：『暴力の経験史－第一次世界大戦後ドイツの義勇軍経験 1918～1923－』（法律文化社、2016年）

『第一次世界大戦と民間人－「武器を持たない兵士」の出現と戦後社会への影響－』（共著、錦正社、2022年）

ジュフリー・ハーフ『ナチのプロパガンダとアラブ世界』（共訳、岩波書店、2013年）

トーマス・キューネ／ベンヤミン・ツィーマン編『軍事史とは何か』（共訳、原書房、2017年）

アンドレアス・ヴィルシング／ベルトルト・コーラー／ウルリヒ・ヴィルヘルム編『ナチズムは再来するの
か？－民主主義をめぐるヴァイマル共和国の教訓－』（共訳、慶應義塾大学出版会、2019年）

ローレンツ・イエーガー『ハーケンクロイツの文化史－シュリーマンの「再発見」からナチ、そして現在まで－』（共訳、青土社、2023年）

イスラム文明史学専修

清水 和裕 教授

専 門：アラブ史、初期イスラム史

専門分野：アッバース朝を対象として政治史、軍事・行財政制度、そして社会における民衆の運動などを研究。近年はカリフ体制論を中心に、書記官僚による行政技術や、シーア派活動におけるシンボリズムのあり方などを検討している。

主要業績：『イスラーム史のなかの奴隷』（山川出版社、2015年）

『軍事奴隷・官僚・民衆－アッバース朝解体期のイラク社会』（山川出版社、2005年）

「ヤズデギルドの娘たち－シャフルバーヌー伝承の形成と初期イスラーム世界」（『東洋史研究』67-2、2008年）

小笠原 弘幸 准教授

専 門：オスマン帝国史

専門分野：オスマン帝国を専門とし、特に帝国の前近代における歴史叙述のあり方について、ペルシア語歴史叙述との関係にも注意を払いつつ研究している。最近では、近代やトルコ共和国初期における歴史認識の問題についても考察を進めている。

主要業績：『イスラーム世界における王朝起源論の生成と変容－古典期オスマン帝国の系譜伝承をめぐって』（刀水書房、2014年）

『オスマン帝国－繁栄と衰亡の600年史』（中公新書、2018年）

『トルコ共和国 国民の創成とその変容－アタテュルクとエルドアンのはざままで』（九州大学出版会、2019年、編著）

地理学専修

遠城 明雄 教授

専 門：人文地理学、都市研究

専門分野：近代および現代の日本や第三世界の都市を対象として、人々の社会生活がどのような論理によって営まれているのか、またそれが国家や資本の動きとどのような関係にあるのかを、特に創り出された景観、空間、場所の分析を通して研究しています。また都市や空間をめぐる理論研究の学説史的検討も行っています。

主要業績：Decolonising and Internationalising Geography.(共著、Springer, 2020)

Akio ONJO ed., Power Relations, Situated Practices, and the Politics of the Commons. (Kyushu University, 2017).

『新修福岡市史資料編 近現代2 近代都市福岡の始動』(共編、福岡市、2015年)

『身体と生存の文化生態』(共著、海青社、2014年)

伊藤 千尋 准教授

専 門：人文地理学、アフリカ地域研究

専門分野：ザンビア・ジンバブウェを対象にして、都市-農村間の相互作用やそれらが自然環境にもたらす影響を解明する研究を行っています。国内では、農山村を対象にして、地域間ネットワークと自然資源利用に注目して地域社会の変化を読み解く研究を行っています。また、地理教育や地域社会への還元にも積極的に取り組んでいます。

主要業績：「高校地理教科書における『人種』に関する記述の問題点：差別・偏見を生まない地理教育に向けて」(単著、E-journal GEO、16 (2) , 2021年)

『ザンビアを知るための55章』(共著、明石書店、2020年)

「滋賀県高島市朽木における行商利用の変遷と現代的意義」(単著、地理学評論 88 (5) 、2015年)

『都市と農村を架ける：ザンビア農村社会の変容と人びとの流動性』(単著、新泉社、2015年)

外柵保 大介 准教授

専 門：人文地理学、経済地理学

専門分野：日本や欧米の成熟した産業地域や企業城下町を主なフィールドとして、進化経済地理学の検討を通じて、地域産業を進化の視点で読み解く研究を行っています。また、理論研究と接合を図りながら、地域イノベーションや産学連携、まちづくり、ツーリズムなどの実態把握や政策研究も進めています。

主要業績：『新経済地理学概論』(共著、原書房、2022年)

「旧産業地域ビルバオにおける縮退とレジエンスー 都市再開発、イノベーション政策一」(単著、史林 105 (1) 、2022年)

『進化する企業城下町ー 進化経済地理学からのアプローチ』(単著、古今書院、2018年)

○言語・文学専攻

国語学・国文学専修

青木 博史 教授

専 門：日本語文法史

専門分野：語形成、ヴォイス、複文など、多岐に亘る文法現象の歴史的研究。中世末期言語資料の文献学的研究。

主要業績：『語形成から見た日本語文法史』（ひつじ書房、2010年）

『日本語文法の歴史と変化』（編著、くろしお出版、2011年）

『日本語歴史統語論序説』（ひつじ書房、2016年）『文化化・語彙化・構文化』（共著、開拓社、2020年）

川平 敏文 教授

専 門：近世文学・思想史

専門分野：17～18世紀における思想と文学の動態を研究している。特に徒然草の受容史、俳文学史（俳論・俳文中心）、近世随筆、学者・文人の伝記研究など。

主要業績：『兼好法師の虚像—偽伝の近世史』（平凡社、2006年）

『徒然草の十七世紀—近世文芸思潮の形成』（岩波書店、2015年）

『長崎先民伝注解』（共編、勉誠出版、2016年）

『徒然草 無常観を超えた魅力』（中公新書、2020年）

岡田 貴憲 准教授

専 門：中古文学

専門分野：平安時代物語・日記文学の研究。特に、『源氏物語』ほか作り物語の注釈的研究、および日記文学の資料的研究。

主要業績：『『和泉式部日記』を越えて』（単著、勉誠出版、2015年）

『『和泉式部日記／和泉式部物語』本文集成』（共編著、勉誠出版、2017年）

『ひらかれる源氏物語』（共編著、勉誠出版、2017年）

中国文学専修

静永 健 教授

専 門：中国古代文学

専門分野：漢魏六朝文学研究（『文選』『玉台新詠』など）、唐代文学研究（李白、杜甫、白居易など）、東アジアというグローバルな視点から捉え直した中国古典文学研究

主要業績：『唐詩推敲—唐詩研究のための四つの視点』（研文出版、2012年）

『漢籍伝来—白楽天の詩歌と日本』（勉誠出版、2010年）

『海がはぐくむ日本文化』（東京大学出版会、2014年、共著・主編）

『漢籍東漸及日蔵古文献論考稿』（中華書局、2011年、共著）

『目加田誠「北平日記」：1930年代北京の学术交流』（中国書店、2019年、共著・主編）

『目加田誠北平日記』（鳳凰出版社、2022年、共著・主編、上の書籍の漢語訳）

『白文課本『史記』項羽本紀：悩める若き英雄の物語』（花書院、2020年）

論文「華陽公主の面影：白居易をめぐる永貞期の青年群像」（『文学研究』116、2019年）

論文「唐詩の微韻」（『中国文学論集』50、2021年）

論文「明末の異人唐汝詢とその唐詩注釈」（『中国文学報』95、2022年）

井口 千雪 講師

専 門：中国中近世文学

専門分野：『三國志演義』を中心とした明代白話小説の成立過程（版本の校勘や歴史書との比較など）、及び受容の様相（書坊・知識人・大衆の関わり）

主要業績：「武定侯郭勛による『三國志演義』『水滸伝』私刻の意図」（『日本中国学会報』71、2019年）

『三國志演義成立史の研究』（汲古書院、2016年）

「『三國志演義』三系統の版本の継承関係—劉龍田本を手がかりに—」（『東方學』127、2014年）

「閑索説話に関する考察」（『和漢語文研究』11、2013年）

孫 琳淨 講師（外国人教師）

専 門：中国古典小説、漢文学、中国語学

専門分野：『水滸伝』と曲亭馬琴『南総里見八犬伝』を中心とした、中国古典小説の近世日本への伝播・影響に関する研究

主要業績：『日本近世における白話小説の受容—曲亭馬琴と『水滸伝』』（汲古書院、2021年）

「『南総里見八犬伝』における『水滸伝』の受容—犬坂毛野を中心に—」（『和漢語文研究』17、2019年）

「石渠閣補刻本『忠義水滸伝』の日本における受容の側面—馬琴と北静廬を手がかりに—」（『中国文学報』91、2018年）

英語学・英文学専修

西岡 宣明 教授

専 門：英語学

専門分野：統語論、生成文法理論、特に否定現象

主要業績：「話題・焦点活性化と WH-mo, XP-sika, RokunaN」（『極性表現の構造・意味・機能』開拓社、2019年）

Negative Sensitive Items and the Discourse-Configurational Nature of Japanese（共著、*Glossa* 1: 33, 2016）

『英語否定文の統語論研究』（くろしお出版、2007年）

鶴飼 信光 教授

専 門：イギリス文学、特にイギリス小説

専門分野：エミリー・ブロンテ、オースティン、ディケンズ、ハーディ、ワイルドなどの19世紀の小説家、ウルフ、E. M. フォースターなどの20世紀の小説家を研究している。

主要業績：『一九世紀「英国」小説の展開』（共著、松柏社、2014年）

『背表紙キャサリン・アーンショー—イギリス小説における自己と外部』（九州大学出版会、2013年）

『ディケンズ文学における暴力とその変奏』（共著、大阪教育図書、2012年）

大橋 浩 教授

専 門：英語学

専門分野：認知言語学的アプローチによる英語・日本語の分析、文法化、(間)主観化、構文化

主要業績：『認知言語学の本質』（共著、くろしお出版、2018年）

『認知言語学—基礎から最前線へ』（共著、くろしお出版、2013年）

The Development of an English Intensifier Phrase: A Corpus-based Study (*English Linguistics* 23, 2006)

高野 泰志 准教授

専 門：アメリカ文学

専門分野：アーネスト・ヘミングウェイをはじめとするアメリカ小説、およびセクシャリティ研究、アメリカ文化研究など。

主要業績：『下半身から読むアメリカ小説』（松籟社、2018年）
『アーネスト・ヘミングウェイ、神との対話』（松籟社、2015年）
『引き裂かれた身体—ゆらぎの中のヘミングウェイ文学』（松籟社、2008年）

前田 雅子 准教授

専 門：英語学

専門分野：統語論、生成文法理論、特にカートグラフィー、削除現象

主要業績：「日本語における相対的最小性の欠如について」（『コーパスからわかる言語変化・変異と言語理論3』開拓社、2022年）

『カートグラフィー（最新英語学・言語学シリーズ5）』（共著、開拓社、2020年）

Derivational Feature-based Relativized Minimality (Kyushu University Press, 2014)

ケリー・ベノム 准教授

専 門：英語学

専門分野：認知言語学、コーパス言語学

主要業績：“Contraction as Idiomatic Variation: A Corpus-based Study of Korean, Japanese, and English.” *Japanese/Korean Linguistics* 28, 361- 375, 2021. (共著)

“Husbands and wives in English and Japanese: A cognitive, corpus-based semantic and sociopragmatic analysis.” *Collected Research from the Center for Language Studies Nagasaki University* 9, 45-72, 2021.

“English *through* and the gradience of force dynamics”, *International Journal of Cognitive Linguistics*, Vol. 5, No. 1, pp. 29-51, 2014.

イアン・トゥイディ 准教授

専 門：アイルランド文学、英米文学

専門分野：現代詩、田園詩・飢饉・エコロジーの表象、エレジー、古典文学、表象の倫理、クリエイティヴ・ライティング

主要業績：*Cancer Poetry* (Palgrave Macmillan, 2015)

Pastoral Elegy in Contemporary British and Irish Poetry (Bloomsbury, 2012)

“Plath and the Pastoral”, *Sylvia Plath in Context*, ed. Tracy Brain (Cambridge University Press, 2019), pp. 105-14

独文学専修

小黑 康正 教授

専 門：ドイツ近代文学・現代文学、ドイツ思想

専門分野：①トーマス・マン（黙示録、アレゴリー）、②「水の女」（ロマン派、インゲボルク・バッハマン）、③ルードルフ・カスナー（観想学）、④ヘルタ・ミュラー（辺境、沈黙）、⑤「第三の国」（ネオ・ヨアキム主義）を考察の中心に据えながら、近現代ドイツの文学ならびに思想の研究に取り組んでいる。

主要業績：単著：『黙示録を夢みるとき—トーマス・マンとアレゴリー』（鳥影社、2001年）

編著：『トーマス・マン『魔の山』の「内」と「外」—新たな解釈の試み』（編著、日本独文学会研究叢書041、2006年）

単著：『水の女—トポスへの船路』（九州大学出版会、2012年；新装版2021年）

翻訳：ヘルタ・ミュラー『心獣』（翻訳、三修社、2014年）

論文：:Der Zauberberg und Doktor Faustus als apokalyptische Zwillinge. —Thomas Manns Kampf um ein drittes Reich — . In: Neue Beiträge zur Germanistik. Band 15 / Heft 1. Hrsg. von der Japanischen Gesellschaft

für Germanistik. München 2016, S. 78-96. (第15回日本独文学会賞)

翻訳：マルティン・ヴィーラント『王子ビリンカー物語』(翻訳、同学社、2016年)

翻訳：ヘルタ・ミュラー『呼び出し』(三修社、2022年)

オーリヴァー・グリユター 准教授

専門：ドイツ古典文学

専門分野：ルネサンス、バロック、クロップシュトック、ヘルダーリン

主要業績：論文：»Von den Wettern zerrissen«: Zu Hölderlins Ode Heidelberg und ihrer horazischen Mythopoetik, in: Hölderlin-Jahrbuch 40 (2017), S. 221-232.

論文：:Heroen. Zu einem Vergil-Rekurs in Hölderlins Elegie Stuttgart, in: Zeitschrift für deutsche Philologie 136/2 (2017), S. 161-185.

論文：Verzeitlicht und verewigt. Das reisende Ich in Konrad Celtis' Dichtung, in: Deutsche Vierteljahrsschrift 94 (2019), S. 449-467.

論文：(zus. mit Julia Frick) Hybride Temporalitäten. Lebenszeit und Weltzeit in Nicodemus Frischlins Beschreibung der Straßburger Münsteruhr (1575), in: Daphnis 49 (2021; Themenheft: Lebenszeit und Weltzeit in der Frühen Neuzeit, hg. v. Sylvia Brockstieger), S. 532-560.

編著：abbreviatio. Historische Perspektiven auf ein rhetorisch-poetisches Prinzip, hg. zus. mit Julia Frick. Basel und Berlin 2021.

仏文学専修

高木 信宏 教授

専門：フランス文学 (19世紀)

専門分野：スタンダールの小説作品を対象として、テキスト成立の背景となる政治体制や価値観の変遷などと関連づけつつ多角的な観点から研究をつづけています。また、その文学の受容にも関心があり、バルザックやポール・ヴァレリー、小林秀雄などがスタンダールを論じることで、いかなる批評的な意義を提示したのかについても考証しています。

主要業績：『スタンダール—小説の創造』(慶應義塾大学出版会, 2008).

«Valéry et Lucien Leuwen» (HB. *Revue internationale d'études stendhaliennes*, no 24, 2020)

«Texte et correction : une remarque sur le caractère de Mme de Rênal» (HB. *Revue internationale d'études stendhaliennes*, no 23, 2020)

«Mitty, Valéry et Lucien Leuwen» (HB. *Revue internationale d'études stendhaliennes*, no 22, 2018)

宮崎 海子 准教授

専門：フランス文学 (20世紀)

専門分野：「歴史と文学」の観点を大枠とし、特に第二次世界大戦(ドイツ占領下の対独協力、レジスタンス、強制・絶滅収容所、ユダヤ人大虐殺)の記憶が文学作品においてどのような手法や文体で表現されてきたか、またその表象や表現方法がどのように変化してきたかをフランス社会(や左派インテリ層)における思想史や記憶の変遷の歴史に照らし合わせて考察しています。

主要業績：«Abahn Sabana David, ou l'initiation du processus de judaïsation dans l'œuvre de Marguerite Duras» (*Textuel*, no 67, 2012)

«Duras et le génocide juif» (*Les Lectures de Marguerite Duras*, PUL, 2005)

«Les parias des houillères du Chikuhō : assimilation ou surdiscrimination?» (*Cipango*, no 23, 2020)

菅野賢治/合田正人監修、小幡谷友二/高橋博美/宮崎海子訳、Léon Poliakov 編著『反ユダヤ主義の歴史』第五巻(筑摩書房、2007)

シャルレーヌ・クロンツ 准教授 (外国人教師)

専 門：フランス文学 (20 世紀)

専門分野：現代文学、とりわけ現代詩の方法論について研究しています。近年ではルーマニア出身の 20 世紀フランスの詩人ゲラシム・ルカの作品をとりあげ、ビクトポエジーとオントフォニーの観点から詩の分析と解釈をおこなっています。またルカが加わっていたシュルレアリスムの芸術と活動についても文学史的・実証的な調査をつづけています。

主要業績： *Gherasim Luca : texte, image, son* (Peter Lang, coll. « Modern French Identities », 2020)

Origami, le pli dans les littératures et les arts (*Revue des Littératures et des Arts*, no 22, 2021)

« Wifredo Lam et Gherasim Luca : Apos-troph'apocalypse » (*Wilfredo Lam*, 2021)

« Répétitions et variations dans les listes vi-lisi-bles de Michèle Métail » (*Formes poétiques contemporaines*, 15, 2020)

言語学専修

上山 あゆみ 教授

専 門：理論言語学、統語意味論

専門分野：母語である日本語の観察を基盤にして、生成文法の観点から文の構造及び意味解釈と構造の関係を研究している。生成文法は、従来、英語に関する研究が先行しており、日本語の分析も英語の分析を修正・適用するものが多いが、英語における成果に依存せずとも実証的に示せる理論構築を目標としている。

主要業績：『はじめての人の言語学—ことばの世界へ』（くろしお出版、1991 年）

『生成文法の考え方』（共著、研究社、2004 年）

Model of Judgment Making and Hypotheses in Generative Grammar (*Japanese/Korean Linguistics* 17, 2010)

『統語意味論』（名古屋大学出版会、2015 年）

下地 理則 准教授

専 門：琉球語、日本語諸方言、言語類型論

専門分野：フィールドワークにもとづく個別言語の記述をベースとしつつ、個別言語の実証的データから通言語的・理論的一般化を行う言語類型論を専門とする。個別言語の記述に関しては、琉球語を中心に日本の危機言語・危機方言の総合的記述に取り組んでおり、音韻から統語・談話にいたる言語の全体像を描き出す記述文法書の作成に力を入れている。

主要業績： *An Introduction to the Japonic Languages* (編著, Brill, 2022)

Number in Japonic Family (共著, *Number in the World's Languages*, Mouton, 2022)

Dialects (共著, *Cambridge Handbook of Japanese Linguistics*, Cambridge University Press, 2018)

『南琉球宮古語伊良部島方言』（くろしお出版、2018 年）

太田 真理 准教授

専 門：言語脳科学、心理言語学

専門分野：脳波や脳磁図、機能的磁気共鳴画像法などの脳機能イメージングを用いて、言語の神経基盤の研究を進めている。生成文法を中心とする理論言語学で提唱された仮説を、神経科学の実験を通して実証することで、言語学と神経科学を統合した言語処理の脳内モデルを構築することを目標としている。

主要業績： *Syntactic computation in the human brain: The Degree of Merger as a key factor* (共著, *PLOS ONE* 8, 2013)

Dissociating effects of scrambling and topicalization within the left frontal and temporal language areas : An fMRI study in Kaqchikel Maya (共著, *Frontiers in Psychology* 8, 2017)

Merge-generability as the key concept of human language: Evidence from neuroscience (共著, *Frontiers in Psychology* 29, 2019)

「個人情報」の利用について

- 出願書類に記載された個人情報は、入学者試験で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用します。
- 出願書類に記載された個人情報は、入学者試験後本学への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用します。
- 入学者試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用します。
- 入学者試験で利用した個人情報は、個人が特定できない形で、本学における入学者試験に関する調査・研究資料として利用します。
- 出願書類に記載された個人情報及び入学者試験の結果等の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、上記4項目以外の目的で利用することはありません。また、取得した個人情報を「個人情報の保護に関する法律」その他の関連法令により認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。
- 個人情報の取扱いについては、あらかじめ以下の Web ページを確認してください。
<http://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>